

桐生西ロータリークラブ週報



2014-15年度RIテーマ **ゲイリー C.K.ホアン RI会長**

LIGHT UP ROTARY **ロータリーに輝きを**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30
例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 向田 靖 広報活動委員長 新木明夫 広報活動委員 金子福松・岡田善孝・栗原秀一
幹事 横塚直人 クラブ会報・雑誌担当 鳥嶋隆一 羽鳥 隆 (歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1964

2014年12月5日発行

第2086例会 (2014・11・28) 報告

正午～昼食 (例会場: は一とふるチハヤ多目的室)

1. 点 鐘 (12:30)
2. ロータリーソング
3. 新会員入会式
4. 地区補助金贈呈式
5. マルチプル・ポール・ハリス・フェロー授与
6. 新会員推薦者の為の認証プログラム裏当て授与
7. 会長報告
8. 幹事報告

9. 委員会報告
10. 点 鐘

職場訪問

司会 職業奉仕担当 江原利夫君

1. 会長挨拶 向田 靖君
 2. 『は一とふるチハヤ』概要説明 施設長 石戸悦史様
 3. 施設見学並びに入所者の皆様と交流
- 解 散 (13:30)

◆新会員入会式



服部裕樹君

(株)エーワン 代表取締役
職業分類: 総合広告代理業
推薦者: 小林 聡君



石戸悦史君

(社福)チハヤ会 は一とふるチハヤ 施設長
職業分類: 障害福祉施設経営
推薦者: 小林 聡君

小林聡君より服部裕樹君の紹介:

服部君は昭和46年生まれの43才で園田君と私の同級生です。平成19年に(株)エーワンを設立して今年で8年目になります。業務内容はウェブデザイン、チラシやパンフレット等のデザインが主です。また5年前に一般住宅のリフォームや店舗デザイン・施工などの会社も立ち上げました。趣味はフットサル、ゴルフ、映画鑑賞です。

小林聡君より石戸悦史君の紹介:

石戸君は昭和45年生まれで、桐生工業高校では硬式野球部に所属、大学では仏教を学ばれました。給湯設備等の営業職に就かれた後、平成6年にチ

ハヤ会に奉職し、平成25年に施設長に就任されました。趣味は、野球で壮年の大会で県大会に出場、また格闘技「日本拳法」は三段の腕前で日本一を何回も獲得している強者です。ご家族は奥様とお子様3人(大学生・中学生・小3生)です。

服部裕樹君のご挨拶:

宮前町で広告総合代理店を営んでおります。このような団体の入会は初めてですので、いろいろ勉強させて頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

石戸悦史君のご挨拶:

障害児者のサービス提供及び支援をさせて頂いておりますチハヤ会の管理者を務めております。歴史ある西RCに入会させて頂き、諸先輩方にご指導を仰ぎながらしっかりと努めて行きたいと思っておりますので、今後共どうぞ宜しくお願い致します。

向田 靖 会長の歓迎のご挨拶:

お二人のご入会誠にありがとうございます。今日は奇しくも石戸君の事業所の職場訪問での入会式となりました。お二人をお迎えして会員数63名となり、大歓迎しております。一日も早くクラブに慣れてご活躍されますよう祈念申し上げます。

◆地区補助金贈呈式

は一とふるチハヤ施設長 石戸悦史様へ目録贈呈
地区補助金事業として 食堂のテーブル3卓と椅子9脚を寄贈。



◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー授与

(2回目)
齋藤憲一君

◆新会員推薦者のための
認証プログラム表彰

向田 靖君 ブロンズ

(佐田洋君、前田幸裕君
2名の推薦に対して)



- ◆会長報告 向田会長
(職場訪問の会長挨拶の中で)
- ◆幹事報告 横塚幹事
- ◇次例会は年次総会ですのでご出席をお願い致します。
- ◆委員会報告 特になし

《次例会予告》

12月12日(金) ロータリー情報アワー、ライラ研修報告
12月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い

障害者支援施設

はーとふるチハヤ

職場訪問

11月28日(金)、例会を変更して障害者支援施設『はーとふるチハヤ』を職場訪問させて頂きました。当日の出席者は43名でした。霜村奉仕プロジェクト委員長と江原職業奉仕担当の綿密な準備のもと、そしてクラブ運営委員さんに駐車場と会場案内のお手伝いを頂いて、当施設の皆様のご理解とご好意により、開催できました。

当施設の多目的室を例会場にお借りして、江原担当の心温まるメッセージを添えた司会進行により行いました。先ず、向田会長より、はーとふるチハヤさんへの地区補助金贈呈から職場訪問に至った経緯などご説明頂きました。そして、本題の施設の概要を、石戸悦史施設長様から詳しくお話し頂きました。その後、入所者の皆様とふれあうと共に、寄贈したテーブルと椅子が設置された食堂や陶芸棟など見学して、解散となりました。



社会福祉法人チハヤ会の沿革

昭和26年10月、曹洞宗長円寺の住職・石戸千隼氏(現施設長の祖父)が、家庭に恵まれない10人の子供達を引き取って養育する。この時、本堂を再築するための資材を、「死んだ仏より生きた仏の救済が急務」と言って、檀家さんの了解をとって施設を立ちあげた。(チハヤ養護園の創設)。その1年半後、千隼氏急逝され、夫人が園長となる。

昭和44年3月、社会福祉法人チハヤ養護園となり、同年4月精神薄弱児施設となる。昭和61年、第3代園長に石戸維信氏(現施設長の父)就任。平成5年に49才の若さで他界。4代、5代の施設長を経て平成25年に第6代施設長・石戸悦史氏就任、現在に至る。その間、「はーとふるチハヤ」に名称変更、共同生活援助GH「わたぼうしホーム」、相談支援事業所「はーと」開設。27年4月、多機能型事業所「チアフル」と放課後デイサービス「バステル」開所予定。



司会：江原職業奉仕担当 向田会長挨拶 石戸施設長様の概要説明 施設の皆様におやつを差し入れ 寄贈した新しい椅子と机で入所者の皆様と歓談

障害者支援施設“はーとふるチハヤ”の概要

はーとふるチハヤは入所型の生活介護施設です。現在の入所者は、知的障害と精神障害を重複されている方、または身体障害を重複されている方を含めて男性33名、女性17名の50名です。平均年齢は41~2才、最高年齢者は60才です。入所者の皆さんが常に安心安全に暮らせるよう、看護師さんや栄養士さん、調理員さんや生活支援員さんなどの専門職員を適切に配置しています。また、入所者の皆さんが身体機能の維持向上や様々なスキルを身に付けられるよう、農作業や、委託作業として内職や弁当配送、手工芸として和紙や陶芸、DVD鑑賞、プロの先生を招いてエアレス体操やマッサージなど行っています。

また、50名の入所者を支えているだけでなく、この地域のセーフティネットとしての役割も担っています。ご家族が介護出来ない状況になった時や、家族からの虐待防止の為の短期受入。また刑務所から出所された方は精神障害が知的障害を抱えた方が多いので、困窮して再犯しないよう、暮らしを安定させて社会へ送り出す役割も果たしています。更には入所から地域へ出たい方の支援も行っています。

社会福祉法人チハヤ会の基本理念

「未来へのチャレンジ！」
～共に歩み、共に生きる町の創造！～

社会福祉法人チハヤ会の基本目標

- 一人ひとりが尊重される町づくりを住民の皆さんと共にすすめます。
- 共に学び、共に育つ町づくりを実現させます。
- 多様な選択が可能となり、共に豊かな人生を拓きます。

チハヤ会の言葉

地域に必要なサービスや住民の理解や互助・共助の輪があれば…
障害があっても、自分の思い描いた暮らしが実現できれば…
誰にとってもかけがえのない、たった一度の人生だから！
障がいがあっても困らずに暮らせる地域、社会を目指したい……。



食堂の新しい椅子と机の向こう口は入所者の皆さんの作品が展示してあります。個性豊かで斬新な作品の数々 陶芸作業室を見学。自家窯で焼き上げます。